

2009年3月15日

中央アメリカとカリブ海の親愛なる聖徒たちへ：

近年、中央アメリカとカリブ海の諸召会が、かつてないほどのレベルで、わたしたちとの交わりにおいて一つ思いであり、また主の動きを遂行するため取り組むことにおいても一つ思いであることを、わたしたちは喜んでいきます。お互いが共に、また主とともにわたしたちが動くことによって、豊富で明白な祝福をもたらしてきました。諸召会は命において、また数において増し加わり、主の回復はこの地域で広がっています。サンペドロスラの特別集会センター建設の完成におけるわたしたちの組み合わせと、この地域の指導的兄弟たちが年二回集まって一週間祈ることとは、主がわたしたちの間で得られたことの明白な表現です。主の動きの一つの流れの中で務めの一つ働きを遂行するためにわたしたちの実行していることに対して、わたしたちの上に祝福があることを、わたしたちはみな認識すべきです。この目的にむけて前進するための重要な要因は、新約の唯一無二の務め、すなわち使徒たちの新約の唯一無二の教えの内容を引き継ぐことにあります。この責務は、一つの出版に制限されるというわたしたちの実行において反映されます。

残念ながら、わたしたちは一つ思い、主の回復における一の証し、わたしたちの間での主の動きに対する危険性について、あなたがたにお知らせしなければなりません。この危険性は、主の回復の名の下に遂行されている異なった教えに由来しており、中央アメリカとカリブ海において活発であり、広まりつつある異なる教えです。この働きはドン・ユー・ランとその同労者たちの働きであり、ブラジルに本拠地があります。この地域の働きと諸召会に責任を担っている兄弟たちが再三そのようにしないよう求めたにもかかわらず、ドン兄弟の働き人たちは長年にわたって地上のこの領域に彼の出版物を広めようとして多くの試みを行なってきました。ドン兄弟の働き人たちは、孤立して働きを行い、地方召会において表現されるキリストのからだを建造しないだけでなく、彼ら自身の働きを建て上げます。この働きは、主の証しを損ない、混乱を持ち込み、その結果ある聖徒たちは主の回復を離れてしまいました。ドン兄弟自身、中央アメリカとカリブ海に彼の働きを持ち込みたいという彼の強い意志を表明しています。彼がこの行動を正当化することは主の回復の実行上の主要な諸原則を無効にしています。ですからわたしたちは、中央アメリカとカリブ海の聖徒たちに、ドン・ユー・ラン兄弟の働きに巻き込まれないよう、またその分裂的な教えを受け入れないよう警告するのです。このような警告は、わたしたちの間で主が得られたものを守り、主がさらに前進するための確固とした基礎を与えるために重要です。

### ドン兄弟の出版物を広めるための度重なる企て

ドン兄弟の出版物は、中央アメリカとプエルトリコで1980年代に最初に現れました。同労者の一人であるMel Porter兄弟がその当時カリブ海のいくつかの地方を訪問し、リー兄弟にドン兄弟の出版物の存在を報告したとき、そのような出版物の頒布は正しくないと、リー兄弟は強く言明しました。注目すべきなのは、務めが一つの出版働きにおいて制限されるというリー兄弟の交わりは1986年に与えられているということです。しかしながら、ドン兄弟はまるで彼がこの交わりに従う義務がないかのように振舞ってきました。リー兄弟はドン兄弟に彼の孤立した出版の働きを差し止めるよう要求することはしませんでした。その働きには賛成しておられず、一つの務めによって一つの働きを遂行するために取り組みの方法で働きを行なえるよう、ドン兄弟と彼の同労者たちを数回にわたって助けようとしてきました。1990年代中頃、ドン兄弟の働き人たちは彼の出版物を中央アメリカにもたらすために一致した活動を行ないました。しかし短期間のうちに、中央アメリカの兄弟たちは、ドン兄弟の出版物は諸召会において混乱を引き起こすことに気がつきました。このため、彼らはドン兄弟の同労者たちに、以後決して彼の出版物を中央アメリカで頒布しないよう求めました。ドン兄弟と彼の同労者たちは、1997年3月23日、北アメリカ、中央アメリカ、南アメリカのスペイン語を話すすべての諸召会の責任者にあてて、辛辣な手紙を送ることでこれに反発しました。その手紙は北アメリカの名を伏せた兄弟たちに対する罪定めと非難で埋め尽くされており、それは北アメリカと中央アメリカの諸召会と、南アメリカの諸召会との間に壁を築き上げることを意図したものでした。これらの罪定めは虚偽のものでした。問題の真の核心は、ドン兄弟がスペイン語世界全体を彼自身の出版物と働きのための領地として切り分けようとしたという点にあります。その非難の手紙はエルサルバドルでの特別集会で、ドン兄弟の同労者の一人であるHelcio Almeidaによって頒布されました。

この行動によって引き起こされた損害は、多くの交わりの後に合衆国、ブラジル、台湾の同労者たちによって署名された連名の手紙によって幾分軽減されました。1997年8月1日に出されたその手紙は、同労者たちが新約の唯一無二の務めに従って一つのブレンディングされた働きを遂行する責務があることを肯定しました。その手紙には、「主の回復において、また全地において、たった一つの出版の働き、すなわち、ウオッチマン・ニー兄弟とウイットネス・リー兄弟の著作だけを出版する働きだけが存在すべきです」と明確に述べられています。それにはまた「諸召会の間での憂慮や不必要な疑問を裂けるために、これら二人の主の僕たちの書籍に競合したり、さらに悪ければ、それに置き換わったりするようなほかの出版は決して現れるべきでないということに、わたしたちは同意します」とも書かれています。ドン兄弟はこの声明に署名しましたが、彼は決して彼の対抗的な出版の働きを中断することはなく、中央アメリカとカリブ海沿岸への彼の出版物の輸出活動をただ一時的に抑制するだけでした。

1988年、ドン兄弟の働きは、ドン兄弟と彼の同労者たちが署名したばかりの連名の声明を完全に無視して、コスタリカとホンジュラスの両方に彼の追従者たちを送り出しました。どちらのケースにおいても、地元の兄弟たちはドン兄弟の務めを受け入れない姿勢をはっきりと示しました。聖徒たちの間でドン兄弟の働きを確立するための試みは半年間続きましたが不成功に終わり、彼の働き人たちはブラジルに帰りました。

2000年代初頭、エルサルバドルで行なわれた、北アメリカから三人の同労者が語った特別集会で、ドン兄弟の別の同労者である Anibal Arrancibia は、ドン兄弟の書籍を頒布するためのテーブルを設置しました。彼は、その特別集会の責任を担っている地元の兄弟とまったく交わりなしにこれを行ないました。彼らがこれについて知った時、Anibal にドン兄弟の書籍の頒布をやめるように求め、彼らがほかの務めを受け入れるつもりがないことを示しました。

召会をはっきりと一の立場で彼の出版物を拒絶しましたが、この地域でドン兄弟が彼の務めを確立する企てを一時的にやめさせることができただけでした。少なくとも過去一年半の間に、ドン兄弟の働き人たちは、中央アメリカとカリブ海沿岸で再び活動的になっています。彼らは働きのために行くところはどこでも、ドン・ユー・ラン兄弟の書籍を持って行き、彼らが接触する人たちと、ブラジルでのドン兄弟の働きとの間の排他的な交わりを建て上げようと熱心に務めるのです。

## 孤立した働き

2007年の半ば以来、ドン兄弟の働きが中央アメリカとカリブ海沿岸に新たに侵入することを求めていることがますますはっきりしてきました。カナダのロンドンから来たドン兄弟の同労者たちは、ニカラグアを訪問し始めました。のちに彼らはエルサルバドルとホンジュラスにまで訪問先を広げました。主の回復の地方召会と集会している聖徒たちは、それらの諸召会から分かれて集会するように引き離されました。昨年末、ドン兄弟の務めに従う働き人がキューバに行き、そこで集会を設立すると宣言しました。キューバと中央アメリカにおけるこの働きはすべて、これらの国々のすでに存在している諸召会にも、働きに参加している同労者にも、一切交わりなしになされました。

すでに存在している諸召会や働き人たちとの交わりをこのように無視することは、ドン兄弟の働きの目的が信者たちの一つの共通の交わりの中でのキリストのからだの建造ではなく、私的な働きの建造であることを明確かしています。1996年、彼の最晩年にリー兄弟は証ししています：

1984年に始まって、わたしは同労者と長老の三回の緊急の集会を召集しました。わたしは始まりの言葉で、わたしたちの間に分裂の傾向があると指摘しました。わたしはこれによって、主の回復で実に多くの有能な同労者が、彼らの地区を自分の帝国として保持したがっており、人を引き付けて自分の特定の同労者にしたがっていると断言したのです。わたしたちはみな普遍的にすべての同労者ですが、ある人たちは、ある人を引き付けている人と特定の同労者になりました。ですから、わたしたちはあなたがたすべてに警告しました。（ウイットネス・リー、同労者、長老、主を愛する者、主を追い求める者に対する愛の言葉、pp. 27-28）

わたしたち兄弟たちは、リー兄弟の警告の言葉に呼応します。わたしたちは、ほかのひとたちを彼自身に引き付けているいかなる働き人にも従うべきではありません。リー兄弟はこのように言っています：

自分を魅力的にするような人は、すでに間違っています。そして、もしあなたが彼に引き付けられて従うなら、あなたは彼が間違いを犯すことを助けているのです。あなたは自分を破壊し、そして彼をも破壊します。・・・・・・わたしはだれそれ兄弟と一つであると言わないでください。特別にだれかと一つになることは、間違っています。すべての聖徒と一であることが、正しいのです。（ウイットネス・リー、同労者、長老、主を愛する者、主を追い求める者に対する愛の言葉、pp. 43-44）

中央アメリカとカリブ海の諸召会の聖徒たちが、だれ一人としてキリストのからだにある諸召会の唯一無二の交わりから引き離されず、いかなる特定の働き人にも従うことがないように、わたしたちは祈ります。

### 意図の表明

この地域にいる聖徒たちについてわたしたちが気がかりなのは、わたしたちが過去に見たことや最近発展してきたことだけではなく、ドン兄弟がすでに存在している諸召会への配慮なしにスペイン語世界における彼の働きを建て上げるという意図をはっきりと表明していることです。カナダのオンタリオ州ロンドンにおいて2007年、虚偽の主張をして、リー兄弟が「南北アメリカ大陸のすべてのスペイン語国家をわたしに託しました」と言いました。そして彼は、中央アメリカの諸召会は彼の務めを受け入れないとわかったので、そこから一時的に撤退すると言いましたが、しかしそれから彼は、「いつかわたしは戻るつもりです」と宣言しました。

2008年11月16日、サンパウロに在る召会での、ドン兄弟の働きの北方面への拡大についての報告において、チリから来たドン兄弟の同労者の一人が「わたしはあなたがたを励まします。チリのためだけではなく、南アメリカのすべての諸召会が、中央アメリカとメキシコに行くように励まします」と言いました。そのような表明は、彼らがこの地域で、その地域の諸召会と分かれて、また対立さえして、働きを遂行しようとする確固とした意図があることの現われです。

### 地方召会を無視することを正当化するための歪曲され逸脱した教え

ドン兄弟は、オンタリオ州ロンドンでの彼の語りかけにおいて、彼が中央アメリカに戻った時にそこでの彼の働きを支配するであろう、危険なまでに非聖書的な原則を推し進めました。彼の語るところによれば、もし召会が「卵を産む」ことが出来なければ、つまり人数が増えることができなければ、「わたしたちはその地で召会を興します。・・・・・・ですから、もしあなたが卵を産まないなら、あなたはその地で召会の立場を失うのです」。ドン兄弟の教えは、召会の立場についての聖書的な基準を非聖書的で主観的な基準、すなわち正しい立場の地方召会がすでに存在している都市において「召会」を設立することによって分裂を引き起こすことへの言い訳として容易に悪用できるものに置き換えています。聖書と、主の回復におけるわたしたちの長年にわたる実行によれば、召会の立場は地位上についての事柄であって、状態についての事柄ではありません。

わたしたちは教会の状態と教会の立場とをはっきり区別する必要があります。教会はその体場では正しいかも知れません。しかしその状態は貧しいかもしれないのです。もちろん、わたしたちは立場にも状態にも正しくあるよう主を仰ぎ望みます。しかしながら、教会の認識に関する決定は、状態に従ってではなく、立場に従ってなされなければなりません。これが正当な教会が何であるかを識別する方法です。（ウイットネス・リー、青年の訓練、p. 276）

わたしたちは諸召会の状態についてリー兄弟の負担にあずかっており、この理由のゆえにわたしたち

はあなたがたに手紙を書いています。中央アメリカとカリブ海は、命、人数、広まりにおいてこれまでにないほどの祝福を享受していますが、それは地方における召会生活の実行と、宇宙的なからだの交わりについて彼らが明確であるからです。ドン兄弟の教えは重大な誤りがあり、諸召会の立場と状態の両方を脅かしています。召会增加を産み出せない場合その召会は立場を失うと教えることは、真理に反します。聖書にはそのような教えはなく、一つの都市に第二の召会を設立するという事例も聖書にはありません。ドン兄弟の教えは分裂を是認します。もし彼の務めと働きが中央アメリカとカリブ海沿岸の諸召会に入ることが許されてしまうと、ほかの国々でそうであったように、その結果は分裂であることは、疑う余地がありません。

ドン兄弟の間違った教えは、彼の働きの実行において反映されています。彼の働きは、主の回復における務めを通してわたしたちにもたらされた基本的な原則から逸脱しています。ドン兄弟の働き人たちが、一のたちがに正しく立つ諸召会がある場所に行った場合、彼らが諸召会と接触することを避けることがしばしばあります。そうするよりむしろ、彼の働き人たちは人々を彼らへと引き付け（使徒20:30）、キリストのからだの交わりから引き離し（Iコリント1:9）て個人的な交わりへと引き込むのです。この閉鎖的な交わりの輪は、私的な働きと務め、すなわちドン・ユー・ラン兄弟の働きと務めに中心づけられています。この実行は、使徒パウロによってIコリント1:12で明白に罪定めされています。すべての務めと働きとは、キリストのからだの実行的な表現である地方召会の建造を唯一無二の目的としていることを、ニー兄弟とリー兄弟の両方がはっきりと示しています（引用文献を参照）。新約の務めはそれ自体のためではありませんし、正しい働きは諸召会から離れてそれ自体のためにグループを作り出してしまうようなものではありません。

中央アメリカとカリブ海で諸召会を興した務め、わたしたちのウィットネス・リー兄弟と彼の足跡に従っている同労者たちの務めは、かつてそのような方法で遂行されたことがないと、わたしたちの良心は証しています。リー兄弟が台湾に1950年代に送り出された時、彼は台湾の諸召会の聖徒たちに対して、台湾の諸召会の聖徒たちの間で、台湾の諸召会の聖徒たちと共に労苦しました。彼が「新しい開始」のために1980年代中頃に台湾に戻った時、彼の労苦はすでに存在していた聖徒たちと諸召会を神の定められた道へともたらすためでした；彼はすでに存在していた諸召会を放棄したり無視したりせず、また彼らから離れて働きを始めることもしませんでした。同様に、同労者たちがロシアやロンドンやメキシコシティやそのほかの地に行った時も、すでにそこに存在していた聖徒たちや諸召会から離され、分離されたものを興すような働きを始めることはありませんでした。彼らは彼ら自身を諸召会と結びつけ、すでに集会をしている聖徒たちを成就するために労苦し、彼らによって得られた増加は諸召会にもたらされました。

ドン兄弟の教えと働きは、多くの面で使徒たちの健康な教えに反しています（Iテモテ6:3）。彼の逸脱のいくつかは、2009年1月18日に行なわれたメキシコの全国特別集会で諸召会が読んだ警告の手紙の中で報告されました。それらの点について繰り返すよりはむしろ、ただインターネット上で公開された声明を聖徒たちに参照するにとどめたいと思います  
<http://www.lasiglesiaslocalesenmexico.org/cartas/CartaEspanol.pdf>.

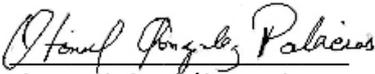
わたしたちは中央アメリカとカリブ海のすべての聖徒たちに、この地域における主の権益のために、用心深く、またねたみを持つよう求めます（参照：IIコリント11:2）。不一致の原因となるものはいかなるものであれ、それが主がわたしたちの間ですでに得られたものを損なったり、来るべき日々になわたしたちの間で主がなさりたいと願っていることを損なったりするままにしておくことは、わたしたちには到底できません。「弁明する者として、あなたがたの魂を見守っている」（ヘブル13:7）諸召会において指導的な人たちに全面的に協力するよう、あなたがたに求めます。ドン・ユー・ランの出版物を聖徒たちの間に持ち込もうとするいかなる企てであれあなたが気がついたら、あるいはいかなるものであれ彼の働きを広めるものにあなたが気がついたら、どうか責任者たちに知らせてください。主の益のために、切に祈ってください。主が彼の回復において、彼の僕、ウオッチマン・ニーとウィットネス・リーを通してわたしたちに開かれたキリストの豊富の中に飛び込んでください。これが最上の保護であり、これが主がわたしたちを守り、わたしたちを全地の彼の回復の諸召会と共に彼の神聖なエコノミーに向けて導く道なのです。

Antigua:

  
Cosmore Edwards

  
Pascual Hughes

Costa Rica:

  
Otoniel González Palacios  
Desamparados

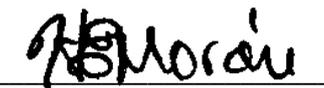
  
Marvin Ramírez  
Heredia

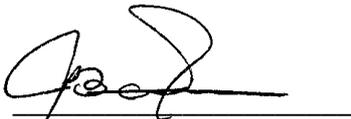
República Dominicana:

  
Zenón Echavarría  
Santo Domingo

  
Lody Montero  
Santo Domingo

El Salvador:

  
Hugo Morón  
Chalchuapa

  
José Barrera  
San Salvador

  
Mario Jiménez  
San Salvador

  
Rafael López  
San Salvador

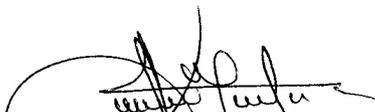
  
Francisco Ortiz  
San Salvador

Grenada:

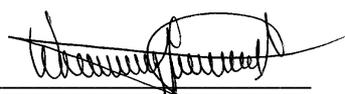
  
Norris Brizan

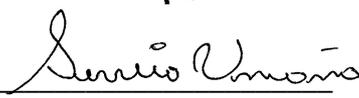
  
Alister De Pradine

Guatemala:

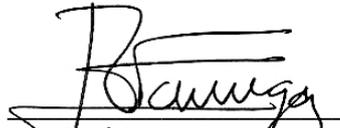
  
Leonel Martínez  
Esquipulas

  
Victor Hugo Fajardo Molina  
Esquipulas

  
William Soto  
Esquipulas

  
Sergio Umaña  
Esquipulas

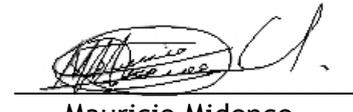
Honduras:

  
José Luis Alvarenga  
La Lima

  
José Maria Arriola  
San Pedro Sula

  
Abraham García  
San Pedro Sula

  
Pedro Lara  
San Pedro Sula

  
Mauricio Midence  
San Pedro Sula

  
Enrique Rodríguez  
San Pedro Sula

  
David Ventura  
San Pedro Sula

Nicaragua:

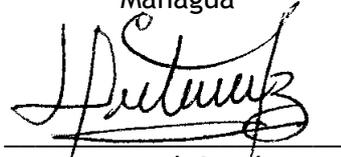
  
Anastasio Espinoza  
Blufields

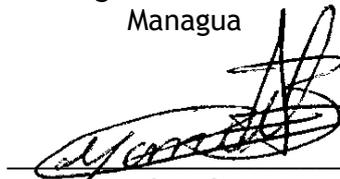
  
Ricardo Arevalo Alemán  
Managua

  
Jaime Bermúdez  
Managua

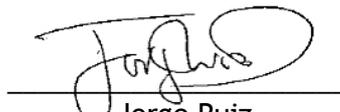
  
Rigoberto Chávez  
Managua

  
Alberto Corea  
Managua

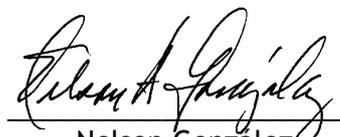
  
Victor José Gutiérrez  
Managua

  
Manuel A. Cerrato  
Nindiri

Panamá:

  
Jorge Ruiz

Puerto Rico:

  
Nelson González

  
Luis A. Pagán

  
Luis E. Pérez

## ウオッチマン・ニー兄弟とウイトネス・リー兄弟の務めからの抜粋

働き人たちは、彼らの働きが自分自身の務めのためではないという態度をとるべきです。また地方召会のすべての聖徒たち召会以外には何も支持しないという学課を学ぶべきです。ただ召会の地方の表現だけを支持しなさい、なぜなら、地方召会は務めではなく、キリストのための燭台であるからです。（ウイトネス・リー、召会生活の実行のための命と道、p.92）

すべての働きは召会のためであり、働き人のためではありません。務めは召会のためです。召会は決して務めのためではありません。わたしたちはこの原則について極めてはっきりしていなければなりません。（ウイトネス・リー、神の建造のビジョン、p.127）

最終的に、務めはその務め自身とための何かを立て上げません。務めが建て上げるものは諸召会です。今日（1986年）、地球上に千以上の召会があります。メキシコ、中央アメリカ、南アメリカにおいて、務めを通して、おもに出版物、オーディオ、ビデオテープを通して、ここ数年内に数百の諸召会が興されました。（ウイトネス・リー、長老訓練第九巻、長老職と神の定められた道（一）、p.66）〔ノート：今日は、約四千の地方召会があります。〕

それからわたしは、務めが地方召会のためであって、地方召会が務めのためではないことを、分け与えました。一つの務めがどれほど良く、どれほど霊的であり、どれほど高くあろうとも、それはやはり地方召会のためでなければなりません。地方召会がどれほど墮落していようとも、それらはなおも燭台です。（ウイトネス・リー、召会と地方召会の歴史、p.76）

わたしたちが見なければならないのは、働きはキリストのからだの働きであり、主が彼の働き人たちを異なったグループ（異なった組織にではなく）分けても、彼らの働きは常にからだという土台の上にあるということです。そして、個々の働き人たちすべて、（同労者たちの）グループすべてはキリストのからだの務めを代表していること、それぞれの働きが保持するものはからだの中に保持されること、それは神の働きが前進するためであることを、わたしたちは認識しなければなりません。そうする時、そうする時にだけ、わたしたちは一つの務め——キリストのからだの建造——を持つのです。もしわたしたしがかからだの一をはっきり認識するなら、何と祝福された結果をわたしたちは見ることになるでしょう！ からだの一の原則が働くところはどこであれ、対立の可能性はすべて排除されます。（ウオッチマン・ニー全集第30巻、正常なキリスト者の教会生活）